

令和 8 年度 第 6 回豊田市藤岡地域会議 議事録

開催日時	令和 8 年 9 月 2 4 日（木）	開会	閉会
		1 9 時 0 0 分	2 0 時 4 5 分
会 場	藤岡交流館 多目的ホール		
出席者	委 員 1 4 名出席（欠席：渋谷委員、高橋委員） 藤岡支所 山田支所長、成瀬担当長、内野主事 近藤市議		
次 第	1 「豊田市民の誓い」唱和 2 開会 藤岡地域会議会長あいさつ 3 議事 提言に向けたテーマ（地域課題）の決定について （1）提言までのポイント及びスケジュール （2）提言テーマの決定 （3）提言に向けた班決め 4 報告 委員からの報告（各団体の活動など） 5 事務連絡		

■議事（要約）

第 6 回藤岡地域会議 定例会

3 議事

提言に向けたテーマ（地域課題）の決定について

（1）提言までのポイント及びスケジュール

事務局から、提言に向けて押さえておくべき事項等を再度説明し、共有を図った。

（2）提言テーマの決定

「過疎対策（定住対策）」及び「生活環境の充実」の 2 項目について、提言テーマを決定した。

- ・ 過疎対策（定住対策）のテーマ：移動手段の確保
- ・ 生活環境の充実のテーマ：地域防災を担う人材・意識の不足

【主な発言内容】

- ・ 学校への車での送迎負担や、昼間にバスが運行していないことへの不便さが挙げられる。
- ・ 交通手段が整っていれば、子どもが高校・大学に通いやすくなり、親の送迎負担が減ることで、若い世代が定住しやすくなる。
- ・ 小学校への通学路の危険性や通学距離の問題等により、子育て世代が転入をためらう要因になっていると感じる。

- ・若い世代や地域を担う人材が地元から離れない、継承する仕組みが必要である。
- ・子どもの遊び場など、若い世代が住みたいと思える定住環境づくりが、結果的に高齢者の見守りや生活基盤の維持につながる。
- ・高齢者の免許返納後、買い物や病院へ行く際に、バスの乗り換えなどの不便さを感じる。
- ・バスのデマンド化などの改善要望がある一方で、労働基準規制強化に伴う運転手不足、人件費高騰、路線維持の難しさもある。
- ・カーシェアやボランティア送迎の仕組みについては、事故発生時の運転手やその家族への精神的ダメージ、金銭・保険・補償上のリスクが課題として挙げられる。
- ・若者の定住と移動手段の確保は切り離せるものではなく、「移動手段の確保」と「若い世代の定住・つながり」を組み合わせる必要がある。
- ・豊田市のハザードマップが1000年に1度の大雨を想定して作成されていることに対し、日常の降雨災害で実際に使えるのか疑問である。
- ・消防団への地域（自治区）からの費用負担や団員不足の現状を考えると、消防団と自主防災組織、地域コミュニティとの連携が必要である。
- ・避難行動要支援者名簿の登録や、個別避難計画・訓練を実際に進める際の難しさがある。

（３）提言に向けた班決め

2つのテーマを全員で話し合うか、2グループに分かれて話し合うか、また1つのテーマに絞って議論すべきか、時間効率や情報共有のメリット・デメリットが議論され、次回までに考えてきてもらい、決定することになった。

【今後の開催予定】

第7回地域会議（10月29日（木）午後7時から藤岡交流館 多目的ホール）